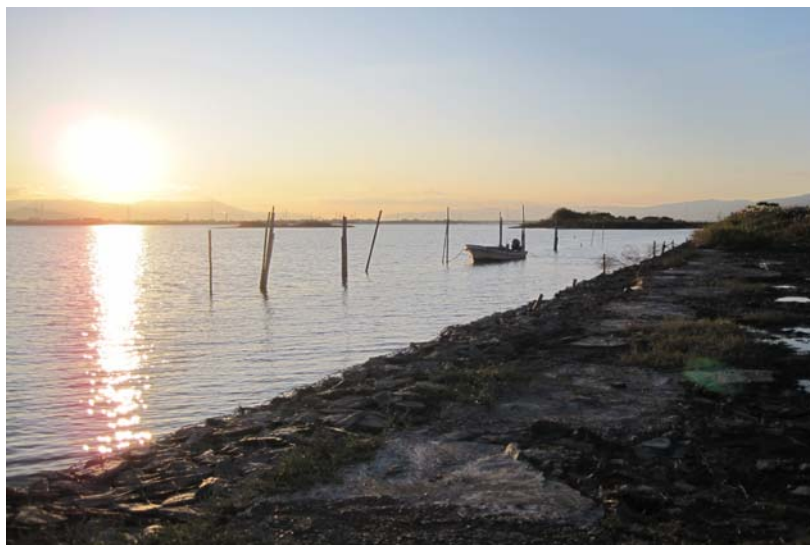


エコアクション 2.1 環境活動レポート



(平成25年6月～平成26年5月)



株式会社フジタ建設コンサルタント

取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント

代表取締役 藤田 定吉

(2) 所在地

本社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字原 8 7 - 1

阿南営業所 〒774-0017 阿南市見能林町青木148-7

徳島営業所 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部部長

杉山 孝一

TEL : 0 8 8 - 6 9 8 - 2 1 5 5

E-mail koichi-sugiyama@fujitacc.co.jp

担当者 管理部 総務課 主任

豊崎 純司

TEL : 0 8 8 - 6 9 8 - 2 1 5 5

E-mail junji-toyosaki@fujitacc.co.jp

(4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

登録事業名	登録番号
測量業	第13-1717号
建設コンサルタント	建21第453号
地質調査業	質24第1653号
補償コンサルタント	補25第189号
一級建築士事務所	第11096号
計量証明事業所	第75・76・86号

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和41年6月1日

資本金 4 千万円

売上高 1 0 億 4 千万円

従業員数 8 8 名

延べ床面積 1,570㎡

(6) 事業年度

6 月～翌年 5 月

(7) 認証登録対象範囲

全社・全組織

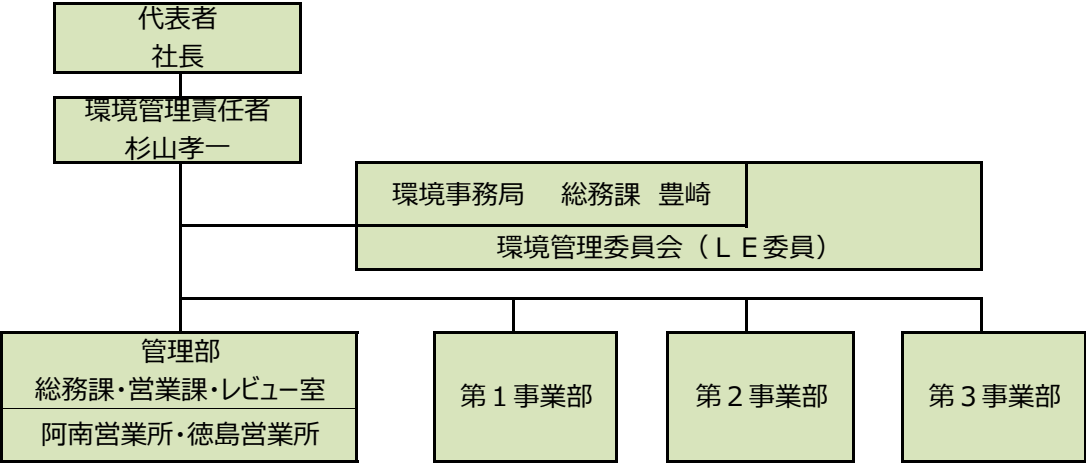
(8) レポートの対象期間及び発行日

対象期間 平成 2 5 年 6 月 1 日～平成 2 6 年 5 月 3 1 日

発行日 平成 2 6 年 7 月 1 日

実施体制の構築

株式会社 フジタ建設コンサルタント
実施体制図及び役割・責任・権限表



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・環境活動の実績集計を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの承認 ・是正、予防処置の勧告
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理委員会（LE委員）	・特定された項目の運用管理及び記録の作成
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環 境 方 針

<基本理念>

我々は、自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。

また、企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。

<行動指針>

具体的に次のことに取り組むものとする。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④事務用品のグリーン購入
- ⑤環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守
- ⑥ 環境配慮型の設計
- ⑦会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進
- ⑧環境方針を全従業員に周知徹底し、環境活動レポートにより公表する

制定日：平成23年2月1日

改定日：

代表取締役 藤田定古

環境目標

1) 単年度目標

項目	単位	基準年	目標
		H21.6 ~ H22.5	H25.6 ~ H26.5
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	113,252	111,500
電力使用量	MJ / 年	1,767,965	1,747,000
燃料	MJ / 年	675,284	667,200
上水使用量	m ³ / 年	1,420	1,400
廃棄物排出量	t / 年	11.4	11.0
グリーン購入量	品目	1	5
事務用紙使用量	t / 年	4.4	4.0
環境配慮型の設計	件 / 年	1	7
地域貢献	回 / 年	3	3

※ 削減率は、毎年0.3% とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO₂/Kwh とした。

2) 中長期目標（3～5年先）

項目	単位	H21.6 ~ H22.5	H22.6 ~ H23.5	H23.6 ~ H24.5	H24.6 ~ H25.5	H25.6 ~ H26.5
		基準年	目標	目標	目標	目標
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	113,252	112,900	112,500	112,000	111,500
電力使用量	MJ / 年	1,767,965	1,762,000	1,757,000	1,752,000	1,747,000
燃料	MJ / 年	675,284	673,200	671,200	669,200	667,200
上水使用量	m ³ / 年	1,420	1,415	1,410	1,405	1,400
廃棄物排出量	t / 年	11.4	11.3	11.2	11.1	11.0
グリーン購入量	品目	1	2	3	4	5
事務用紙使用量	t / 年	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
環境配慮型の設計	件 / 年	1	4	5	6	7
地域貢献	回 / 年	3	3	3	3	3

※ 削減率は、毎年0.3% とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO₂/Kwh とした。

環境目標の実績

1) 本年度実績

項目	単位	基準年	25年度			達成状況		
			目標	前年実績	実績	度合		目標との差
		H21.6～H22.5	H25.6～H26.5	H24.6～H25.5	H25.6～H26.5	目標比	前年比	
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	113,252	111,500	131,138	133,289	×	×	21,789
電力使用量	MJ / 年	1,767,965	1,747,000	1,835,467	1,863,237	×	×	116,237
燃料	MJ / 年	675,284	667,200	902,308	918,545	×	×	251,345
(内) ガソリン	MJ / 年	626,018	—	846,247	870,398	△	○	—
車両台数	台	14	—	17	19			
1台あたり	MJ / 台	44,716	—	49,779	45,810			
上水使用量	m ³ / 年	1,420	1,400	1,366	1,458	×	×	58
廃棄物排出量	t / 年	11.4	11.0	7.8	10.2	○	×	-1
グリーン購入量	品目	1	5	4	5	○	○	0
事務用紙使用量	t / 年	4.4	4.0	4.8	4.9	×	△	1
環境配慮型の設計	件 / 年	1	7	7	7	○	○	0
地域貢献	箇所 / 年	3	3	5	5	○	○	2

電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO₂/Kwh とした。

環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成25年6月～平成26年5月

項目		活動内容	担当者	取組結果	評価	評価 ・ 指示
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った	○	アイドリングストップは徹底できておらず、周知を強化する
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った	◎	計画どおり実施されている。
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定（冷房28℃ 暖房20℃）	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節した	○	デマンド監視が効果的であった
		屋上散水（夏期）によるデマンド管理	総務課	水道水を使いすぎないよう、こまめに調節しながら常に濡れている状態にした	◎	良くできており効果があった
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した	◎	良くできており習慣化している
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施	◎	継続する
		LED照明機器へ順次取り替え	総務課	2フロアの照明機器を全てLEDに切り替えた	◎	他のフロアも切り替えを検討すること
太陽光発電設備の導入を検討する	総務課	売電方式のため電力使用量削減はないが、非常用電源になる	◎	非常用電源として維持すること		
用水使用量削減 （排水量削減）		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導	○	継続する
廃棄物削減		分別ボックスの設置	LE委員			
		裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した	◎	ミスプリントの削減も目指すこと
グリーン購入		エコマーク商品の積極的購入	LE委員	社有車の買い替えに際して、ハイブリッド車を採用した	○	省エネに貢献している 範囲の拡大を検討する
事務用紙使用量削減		社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化	LE委員		○	電子化の効果が出ている 更に推進のこと
		裏紙使用				
環境配慮型の技術提案		環境配慮型の設計	部門長	7件の業務を実施した	○	継続する
地域貢献（清掃活動）		各部で、3回／年 実施する	部門長	予定どおり実施した	○	継続する
		徳島協働の森づくり事業への参加	総務課		○	継続する

次年度の取組内容

期間：平成26年6月～平成27年5月

項目		活動内容	担当者	取組内容	評価	見直し
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う		
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う		
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課			
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定（冷房 2 8℃ 暖房 2 0℃）	L E 委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する		
		屋上散水（夏期）による電力使用量節減	総務課	屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。		
		不要時の消灯	L E 委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する		
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施		
		LED照明機器へ取り替え（1F 3F 4F）	総務課			
		旧型エアコンを最新の省エネタイプに更新	総務課			
用水使用量削減 （排水量削減）		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	L E 委員	適正化の指導		
廃棄物削減		分別ボックスの設置	L E 委員			
		裏紙使用	L E 委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する		
グリーン購入		エコマーク商品の積極的購入	L E 委員			
		徳島協働の森づくり事業への参加（カーボンオフセット）	総務課			
事務用紙使用量削減		新しいワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者			
		裏紙使用	全社員			
環境配慮型の設計		環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく		
地域貢献（清掃活動）		各部で、3回／年 実施する	部門長			
		徳島協働の森づくり事業への参加	総務課	カーボンオフセット		

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される法規制	適用される施設等
環境基本法	事務所
グリーン購入法	事務所
地球温暖化対策の推進に関する法律	事務所
環境配慮事業促進法	事務所
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事務所
特定家庭用機器再商品化法	事務所
フロン回収破壊法	事務所
浄化槽法	事務所
徳島県地球温暖化対策推進条例	事務所
徳島県生活環境保全条例	事務所
消防法	事務所

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去 3 年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

項目	評価・見直し	担当者	期限	見直し結果
環境マネジメントシステムについて	【マネジメントシステムの各要素】 マネジメントシステムに従って各項目を理解し、継続的改善を図ること。	管理責任者 杉山孝一	H26.12末	【マネジメントシステムの各要素】 LED照明への切り替えを促進すること。 ハイブリッド車の導入を促進すること。 古い空調設備については、省エネ型の空調設備への更新を検討すること。
環境パフォーマンス評価	【環境方針】 環境方針は全社員が内容を理解して自発的に活動している。 【目標】 日頃の省エネ活動は着実に実施できている。 ハイブリッド車の導入により車両1台当たりの燃料消費量は減少しているものの、業務量及び社員数の増加等により、車両台数が増えたため燃料の使用量は増加した。 また、業務量の増加及び、昨夏の猛暑により電力使用量も増加したためCO2 排出量目標は達成できなかった。			【環境方針】 環境方針に従って行動すること。 【目標・環境活動計画】 環境活動計画を十分に熟知し、引き続き目標達成に向けて計画を推進すること。 次年度以降の中長期目標は、エネルギー消費が増減する様々な要因を勘案した目標を設定すること。

照明設備のLED化



蛍光灯照明



LED照明 （明るくなりました）

環境配慮型の設計・調査業務

1	美馬市	H24寺町周辺道路景観基本プラン
2	徳島県西部総合県民局（馬土）	穴吹川魚道詳細設計
3	徳島県東部県土整備局（徳島）	園瀬川河川環境調査
4	徳島県東部県土整備局（徳島）	勝浦川河川環境調査
5	徳島県南部総合県民局（阿土）	大津田川 護岸設計業務
6	徳島県東部県土整備局（徳島）	多々羅川 取水堰詳細設計業務
7	徳島県南部総合県民局（阿土）	岡川 騒音振動調査業務（3）



園瀬川 河川環境調査(昆虫類調査)



勝浦川 河川環境調査(昆虫類調査)



穴吹川 魚道詳細設計(現地調査)



多々羅川 取水堰詳細設計業務(現地調査)

社会貢献(清掃)活動

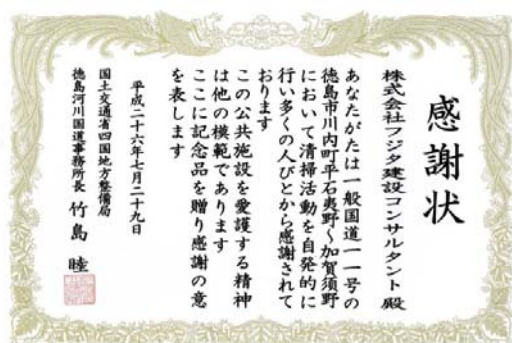
地域活動の内容	実施回数	場所
「アドプト・プログラム吉野川」	年/3回	今切川 左岸 応神大橋から下流へ600m区間
「ボランティア・サポート・プログラム徳島」	年/3回	一般国道11号 6.30kp～3.90kp上下
「徳島県OURロードアドプト事業」	年/6回	県道徳島鳴門線 北島町鯛浜地先 0.13km
「北島町アドプトプログラム」	年/3回	北島町鯛浜字西ノ須地先～大西地先 及び水神社公園



アドプトプログラム吉野川(7月の一斉清掃)



徳島県OURロードアドプト(県道)



ボランティアサポートプログラム(国道11号)
7月に 感謝状を頂きました



北島町アドプトプログラム

CO2削減コンテスト(事業者部門) 調書

I 事業者概要

フリガナ フジタケンセツコンサルタント

事業者名(支店名等) 株式会社フジタ建設コンサルタント

フリガナ フジタ サダヨシ

代 表 者 藤田 定吉

主な業種 土木建築サービス業 事業者人数 (H25.9末時点) 80人

事業内容 建設コンサルタント 補償コンサルタント
測量 地質調査 計量証明
エコアクション21の認証も受け、環境に配慮した経営を行っている。

II 二酸化炭素排出量削減率(電気使用量【二酸化炭素排出係数(0.552)(kg-CO2)】から算出)

	平成24年 ①	平成25年 ②	平成24年と 平成25年の比較 ③(②-①)	二酸化炭素 排出量削減率 (③÷①)
7月分の電気使用量(kWh)	20,846	21,960	1,114	5.3%
8月分の電気使用量(kWh)	22,936	23,430	494	2.2%
9月分の電気使用量(kWh)	17,204	16,635	-569	-3.3%
7月分~9月分の電気使用量合計(kWh)	60,986	62,025	1,039	1.7%
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	33,664	34,238	574	1.7%

III 取組内容

活動期間において、具体的に取り組んだ節電(省エネ)活動、その他(省資源)活動の内容を記入してください。

1.節電(省エネ)活動の取組

- ・屋上の打ち水により社屋の温度上昇を抑えた。
- ・エアコンの温度設定(冷房28℃)扇風機も併用した。
- ・デマンド監視の設定数値が超過しそうなどとき、館内放送でエアコンの設定温度を1度上げるよう呼びかけた。
- ・故障した照明器具はその都度LED照明に取り替えた。
- ・使用していない部屋や不在社員の頭上の消灯及び昼休みの消灯を実施した。
- ・冷たい麦茶をスポーツ用の保冷容器に入れ、冷蔵庫の負担を減らした。
- ・節電啓発のポスターを自作し、社内の各所に掲示した。

屋上の打ち水



冷たい麦茶



節電啓発のポスター



2.その他(省資源)活動の取組

- ・コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した。
- ・使い切ったコピー用紙や封筒などの紙類は、毎月古紙回収業者に引き取ってもらった。
- ・エコドライブの励行及び適正な車両整備(3カ月に一度の定期点検や定期的なオイル交換)を実施し、燃料使用量の削減を心掛けた。
- ・クールビズを実施した。
- ・社内LAN、ワークフローの活用により文書を電子化し、紙の消費を減らした。

太陽光発電施設の導入



発電量

● パワーコンディショナ別表示へ

● 日間

● 月間

● 年間

2014 年 5 月 17 日

○ グラフオートスケール

● グラフ最大値指定

11 kWh

● 設定を反映

*縦軸の設定は携帯サイトにも反映されます。



◀ 前日へ

翌日へ ▶

発電状況報告

■ グラフ表示

2014 年		5 月		の診断レポート		お客様宅のシステム容量は		11.8 kW	
お客様宅の発電量[kWh] ()内は昨年値		診断完了日(*1)		システムの状況		環境貢献度(*2)			
1,925 (—)		2014.6.1		太陽光発電システムに問題はありませんでした。		CO2排出削減量 971.1 kg-CO2 成木の吸収量 69.3 本分			
									

(*1) 当月の診断レポートは、翌月の20日以内に公開いたします。

(*2) CO₂の排出削減量は1kWhあたり0.5045kg-CO₂で算出しております。成木1ヶ月の吸収量は、林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収対策(0+1-4)」による50年生のスギ1本あたり年間約14kgのCO₂を吸収するとして換算しております。また表中の大きな木のマークは成木10本分、小さな木のマークは成木2本分を示します。